INTERNATIONAL OPTOELECTRONICS EXHIBITION 2012
InterOpto® 2012

ハイパワー Yb:KYWレーザ

ロシアのSOLAR LS社がハイアベレージパワー(1W)Yb:KYWフェムト秒レーザを開発し、株式会社インデコで販売を開始した。レーザは基本波(1040nm、1W)、2倍波(520nm、0.2W)、3倍波(346nm、0.1W)モデルを取り揃えており各種実験等で便利に使うことができる。今回の展示会では実機の展示を行うため、Yb:KYWフェムト秒レーザをじかに体感することができる。

株式会社インデコ　東京営業部
☎03-3818-4011
ブース番号:I-045

光学ケージシステム

TECHSPEC光学ケージシステムは、精密なロッド、プレート、及びマウントで構成され、カスタマイズや改造可能なオプトメカニカルシステムの構築を可能にする。システムデザインの変更は、光学マウントやアングルブラケットなどのシステム構成部品の位置を変えたり、追加したりすることで簡単に行える。各部品は個別に購入でき、光学系のカスタマイズや改造にも優れ、プロトタイプ用に最適。ケージシステムの構成部品は、高い耐久性を有するだけでなく、他社製ケージシステムよりも厳しい公差、より高い剛性、より優れた柔軟性を備える。業界最高のコストパフォーマンスを誇り、スムーズな移動、精密なアライメント、また正確性の向上を保証している。

エドモンド・オプティクス・ジャパン株式会社
営業部　☎03-5800-4751
ブース番号:I-041

パワーメータ・ビームトラック

オフィール社のレーザパワーメータ、ビームトラック(特許取得済み)は、ディスプレイとセンサの1セットでビーム位置、ビーム径、レーザ出力の測定が可能。IRカードやビューアを使用せず、入射位置を容易に再現でき、ビームのゆらぎやビーム径の変化をモニタリングすることも可能。ビームトラックセンサシリーズは、パワーレンジ100μW～150Wから選択でき、ビーム位置測定精度0.1mm、ビーム径測定精度±5%となっている。高性能レーザ出力解析ソフトウェアStarLab付属。

株式会社オフィールジャパン
TEL:048-646-4150
ブース番号:I-023

ピコ秒パルスレーザ

信頼性の高い産業用固体レーザのトップメーカとして多くの実績のある独フォトンエナジー社がピコ秒レーザ「ケフェウス」の販売を開始する。

特長は、完全空冷でメンテナンス性

が飛躍的に向上。出力、繰り返し周波数を実用範囲に絞り込むことにより、コンパクト、低価格を実現した。

仕様はモードロックNd：YVO4、基本波・出力12W、パルス幅10ps、パルスエネルギー120μJ@100kHz、繰返し周波数20～500kHz。

カンタムエレクトロニクス株式会社　営業部
☎045-345-0002
ブース番号:I-113

DVI延長機

Opticis社の光DVI延長機 DVFX-110は光ファイバー1本伝送。SCコネクタ付マルチモードファイバーで500mまで、シングルモードファイバーで1.5kmまで延長可能。解像度はWUXGA及び1080Pまで。セルフEDIDプログラミング、HDCP非対応。光パッシブスプリッタOPS-116Sと、トランスミッタ1台、レシーバ16台との組み合わせで1×16分配まで可能で、トランスミッタとレシーバを1対で使わずに済みコストダウンになる。

サンインスツルメント株式会社　営業部
☎03-5436-9361
ブース番号:I-089

レンズ自動外観検査装置

現在、レンズの外観検査方法は、人

による目視検査が一般的である。しかし、人による検査では、検査員の裁量による判断が大きく、人により基準のバラツキがあり不良品を流出させてしまう可能性がある。また、コスト面でも人件費という大きなボトルネックとなっている。

この現状を打破し、生産現場に革命を生むために“レンズ自動外観検査装置”を提案する。

サンコー商事株式会社／新明和工業株式会社　営業本部　☎052-772-0157
ブース番号:T-067

ワイドチューニングフェムト秒レーザ

InSight DeepSeeは、従来の超短パルスレーザーの波長可変領域を約2倍に拡大し、680～1300nmのシームレスな波長可変に革新的な郡速度分散補正制御を搭載した、ワイドチューニングフェムト秒レーザシステムが実現。短パルス、高ピークパワーにより、極めて深い生体の鮮明な多光子イメージングが得られる。また全自動で操作性に優れ、次世代バイオイメージングの標準ツールとして研究をサポートする。展示会では、実機のデモンストレーションを行う。

スペクトラ・フィジックス株式会社　営業部
☎03-3794-5511
ブース番号:I-052

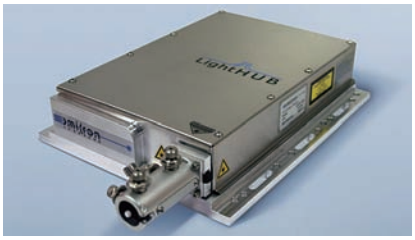
タイムデジタルコンバータ

アジレント・テクノロジーのタイムデジタルコンバータ「U1051A（TC890U）、U1050A（TC840、TC842）」は、光センサなどの出力に接続して、レーザー等のスイッチング周波数の安定度測定、高分解能な位相差測定、タイムインターバル測定に最適である。

独立した複数チャネルのストップウォッチ機能（TC890：6ch、TC840、TC842：12ch）を持ち、スタートイベントからストップイベントまでの正確なタイミング測定を高分解能（TC890、TC840：50ps、TC842：5ps）で実行できる。

株式会社ティー・イー・エム　レーザーソリューション事業部　営業部　☎03-3258-0612
ブース番号:I-064

コンパクトレーザコンバイナ



バイオ・理科学・OEMに最適な多彩な商品群をラインアップしているOmicron（オミクロン）社のコンパクトレーザコンバイナは、次の7つの特徴を有する。①2台、4台、最大6台のレーザー搭載可能 ②26波長から異なる組合せ可能 ③偏波面保存シングルモードファイバー接続可能 ④自然空冷（冷却ファン無し） ⑤小型一体整形の頑強なハウジングボックス ⑥制御用ソフトウエア付属 ⑦フィールドでのレーザアップグレード可能。

また、その用途は、フローサイトメトリ、共焦点顕微鏡、オプトジェネティック、マシンビジョン、リプログラフィック、テストと測定である。

株式会社日本レーザー　レーザー機器部
☎03-5285-0863
ブース番号:I-028

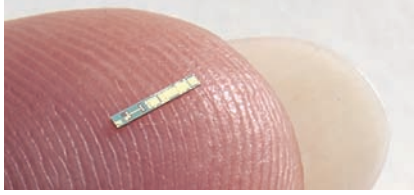
光波面制御モジュール

光波面制御モジュールは高速移動する物体に一回のレーザ照射で描画を作製するなど、レーザ光を3次元で多点に集光するためのレーザ応用機器である。現行製品の空間光位相変調器X10468シリーズの機能に加え、入出射光を同軸方向に一体化して小型化しレーザ加工機などへの接続を容易にしたうえ、温度制御機能を新規開発した事で、更に高精度な安定したレーザ加工を可能にした。X10468のラインナップに準拠しており、レーザの波長や加工用途に応じて8タイプを用意し、レーザ加工の高機能化ならびに新規分野の開拓が期待される。

浜松ホトニクス株式会社　企画開発部　営業開発グループ　☎053-459-1113
ブース番号:I-132

高速VT-DBR半導体レーザ光源

100nmの可変域を200kHzでリニアに掃引可能なSS-OCT、各種センシング用途向けDBR半導体レーザベースの光源である。MEMSなどの可動部



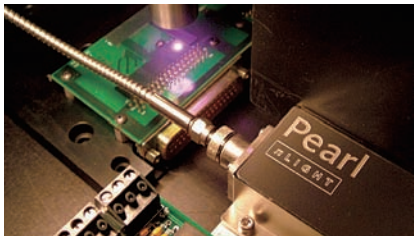
がない電気的な掃引により高速性と安定性を両立しながら可変域や掃引速度を自由に設定することが可能である。

1310nmあるいは1550nm帯において25mWの出力が最高速掃引時でも40mmのコヒーレント長とともに得られ、偏波保持出力も選択可能である。

トリガー出力やFC/APCコネクター、各種LEDをフロントパネルに備えたベンチトップタイプの他、システム組み込み用のOEMバージョンの供給も可能である。

株式会社 フェイラ
☎03-6380-0390
ブース番号:I-121

高出力半導体レーザ



高出力半導体レーザの米nLIGHT社は、自社でLDウェハのエピタキシャル成長からパッケージング、オプティクス設計、組立てまでを一貫して行う高出力LD専門メーカー。幅広い波長帯域で、長寿命、高効率、高信頼性のLDを提供している。また、LIEKKI社の技術を取り入れる事により、LDのみならず、高品質ファイバー製品、短パルスファイバーレーザ等、さまざまな産業用途に最適なレーザ製品を提供する。

丸文株式会社　システム営業本部　営業第3部　光デバイス機器課　☎03-3639-9811
ブース番号:I-055

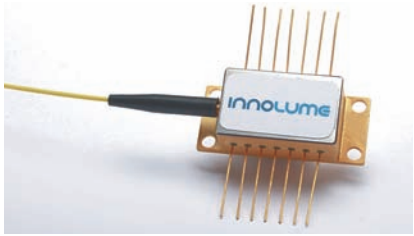
BioOpto Japan 2012 Conference + Exhibition

光励起半導体レーザ(可視)

Genesis MXシリーズは、独自の光励起半導体(OPSL)技術を採用し、高性能でありながら小型、コストダウン(当社従来製品との比較)を同時に実現した次世代全固体高出力CWレーザである。用途に応じ、縦単一周波数発振、シングル横モード発振、マルチ横モード発振モデルを選択可能。波長は460～639nm、出力は数百mW～数Wまで。フローサイトメトリ、DNAシーケンサ、レーザ顕微鏡などのバイオ応用をはじめ、ラマン分光／フォトルミネッセンス、ホログラフィー／干渉応用、半導体非破壊検査、光ディスク、メディカル応用など幅広い用途に最適。

コヒレント・ジャパン株式会社　営業部
☎03-5635-8700
ブース番号:B-156

量子ドットレーザ



独インノルーム社は、カスタムデザインに基づく高度な量子ドットウェハと従来の量子井戸ウエハを生成するエピタキシー(分子線エピタキシー)サービスを提供する。1064～1310 nmまでの波長帯のレーザモジュールを製造しており、波長特性を活かしたバイオ、医療、産業のみならず、直接変調の速度を活かした通信用途にも応用が期待されている。特に、脂肪燃焼効果が期待される1210nmの波長帯を持つ高輝度／高出力の量子ドットレーザはユニークである。

マルチモードは1.1～1.3μm、3W(200μmエミッタ)、シングルモードは1.1～1.3μm、200mW。

コーンズテクノロジー株式会社　電子部品事業部　☎03-5427-7564
ブース番号:B-210

医療・産業応用SS-OCT

医療応用、産業応用が進む注目のSS-OCT(swept source optical coherence tomography)を展示する。santecのOCT技術は最先端の研究に使われているだけではなく、既に複数の分野でOEM製品として実際に医療機器に搭載されている。また産業用のインライン検査においても複数の実績が有り、SS-OCTのパイオニアとして、研究用途、医療分野、産業分野を問わず、最適なソリューションを提案する。当日は高性能でカスタマイズに適したIVS- 2000、持ち運び可能でコンパクト＆低価格のIVS-300、及び解析ソフトを展示。当日はブースにて実際のサンプル評価、技術ディスカッションが可能。

santec株式会社　光システムビジネスユニット　☎0568-79-3536
ブース番号:B-195

プローブ式SS-OCTシステム

OCTの光源として、AXSUN社のMEMSによるSwept Source LASERが注目を浴びている。

AXSUN光源は、低価格、小型、軽量でありながら、高安定、高品位レーザーであることが特長。

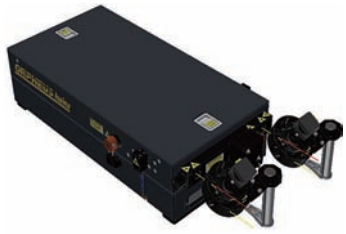
ブースにてこのAXSUN社製光源を用い製品化したプローブ式SS-OCTシステムを展示する。ソフトウエアと共に、使いやすい小型のシステムとなっている。

AXSUN社では組込用OEMバージョン、組込用DAQボード、検出器なども取り揃えている。システムエンジニアリングではユーザが容易にOCTシステムが構築できるようサポートする。

株式会社システムズエンジニアリング 第三営業部　TEL:03-3946-4993
ブース番号:B-192

2出力波長可変フェムト秒OPA

ベストセラーTOPAS シリーズOPAで世界をリードするLight Conversion社が、同社LD直接励起Yb：KGW高出力フェムト秒レーザ（PHAROS）専用に設計した2出力フェムト秒波長可変



OPAをリリース。

1つの白色光シード光源から、2つの独立したOPAを作り出し、筐体は1つのモノリシックデザイン構造になっている。高繰り返し（最大1MHz）で波長可変領域は630nm～2600nmとなり、それぞれ独立したコンピューター波長制御が可能である。

フォトテクニカ株式会社　レーザ事業部
☎048-871-0067
ブース番号:B-194

LFWJ

BioOpto Japan 2012
Conference + Exhibition
光＋バイオ・医療の専門展
www.optojapan.jp/bio
WEB 事前来場登録受付中
＊展示会入場料が無料になります。
Sep.25火－27木 10:00-17:00
パシフィコ横浜 Pacifico Yokohama
主 催：株式会社ICSコンベンションデザイン
Organized by: ICS Convention Design, Inc.
［同時開催］
INTERNATIONAL OPTOELECTRONICS EXHIBITION 2012 interOpto 2012
LED JAPAN Conference & Expo Strategies in Light
LaserTech 2012
展示会についての
お問い合わせ・お申し込み
BioOpto Japan事務局：株式会社ICSコンベンションデザイン
〒101-8449 東京都千代田区猿楽町1-5-18 千代田ビル
TEL：03-3219-3643　FAX：03-3219-3628　e-mail：bioopto@ics-inc.co.jp